**小児CRCクリニカルラダー・チェックシート（レベルⅣ）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 |  |  | １次評価２次評価 | 【○】できる【△】一部援助が必要【×】常に援助が必要 |
| 所属 |  |  |
|  | 最終評価 | 【Ａ】全て○【Ｂ】△が3割程度で　　　×が無い【Ｃ】A、B評価以外 |
| 氏名 |  |  |

大項目　対人（人間関係）能力（No.1～9）は次ページに記載

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | レベル毎の目標 | № | １次評価(自己) | ２次評価(他者) | 最終評価 |
| 小児医療の基礎知識 | 小児の身体的発達の特徴 | 形態的発達と各臓器の機能的発達 | 形態的発達と各臓器の機能的発達についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 10 |  |  |  |
| バイタルサイン、臨床検査基準値について成人との違い | バイタルサイン、臨床検査基準値についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 11 |  |  |
| 小児の薬物動態 | 小児の薬物動態についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 12 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 備考 | 施設特有の問題により修了していない項目の有無　　[ ] 無　　[ ] 有（該当するNo.　　　　　　　　　　　　） |

上記のとおり、評価する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　年　　 月　　 日 | 評　価　者 |  |

上記の評価の結果、下記のとおり決定する。

　　[ ] レベルⅣ修了を認定する（A評価8割以上かつC評価なし）　　　[ ] レベルⅣ未修了とする

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　年　　 月　　 日 | 最終評価者 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | レベル毎の目標 | № | １次評価 (自己) | ２次評価 (他者) | 最終評価 |
| 0～6歳 | 7～12歳 | 13～15歳 | 16歳以上 | 0～6歳 | 7～12歳 | 13～15歳 | 16歳以上 |
| 対人(人間関係)能力 | 小児の心理・社会的発達の特徴および臨床研究における小児患者とその家族とのコミュニケーション | 子どもに対するインフォームドアセント | a | 発達段階に応じたアセントの説明 | 発達段階に応じたアセントの説明についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b | 説明環境やツール選択の工夫 | 説明環境やツールの選択について、効率的に業務を実践する | 2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| c | 避妊のインフォームドアセント | 避妊の説明についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 病気を持つ小児の家族支援、家族看護 | a | 治験のVisitに関するスケジュール調整 | 治験のVisitに関するスケジュール調整についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b | 服薬指導 | 服薬指導についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| c | 臨床研究参加に伴う関係部署との調整 | 臨床研究参加に伴う関係部署との調整についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| d | 臨床研究参加に伴う不安への支援（傾聴） | 臨床研究参加に伴う不安への支援（傾聴）についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 臨床研究チームとの円滑なコーディネーション | 成人と小児における医療手順の相違 | a | 検査 | 小児の検査についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b | 投薬 | 小児の投薬についての知識を活用し、効率的に業務を実践する | 9 |  |  |  |  |  |  |  |  |